

みどり条例ニュース

島根県エネルギー自立地域推進基本条例

2014年2月13日
しまね労連
島根県労働組合総連合

**知事の姿勢は消極的！
条例制定は消極的！
島根の活性化
が大きな課題！**

溝口県知事が、昨日（十二日）、島根県議会に、みどりのエネルギー条例制定請求を知事の意見を付けて上程しました。

残念ながら、条例制定への意見は消極的なものでした。

連絡会は、知事の意見は明確な根拠に基づいていないことや、引用したデータも正確でないことなど指摘。基本理念が一致する限り、条例をつくり、島根県に新たな産業と雇用をつくり、活性化していくことが何よりも必要だと主張し、条例制定を求めました。



【2月12日 県は連絡会に知事の意見について説明&質疑応答】

県議会審議日程

- ◆3月4～5日頃
県議会総務委員会で審議し
可否決定
- ◆3月11日 県議会最終日、
本会議で可否を決定。

そぎ落とされた地域
エネルギーの再生
が、地域を活性化す
る。条例の精神を正
しく伝えてほしい。

地域で条件が違うの
はあたりまえだ。地
域の特色を生かし総
合化し、計画を作る
ことが大事。



県の資料はいいかげんだ。市町村毎のポテンシャル調査や、経済分析を是非やってほしい。

「福島原発事故から3年、原発ゼロの実現を！3・9県民の集い」に参加しよう！
3月9日（日）14時
～ 労働会館（御手船場）